

人物  
紹介

参加体験型学習から  
ホリスティックな実践へ



HEAL (ホリスティック教育実践研究所)  
所長 金香百合さん

ゲームやロールプレイなど、参加体験型学習を取り入れた実践の先駆者として知られ、「金さんが講師なら講座に参加したい」というファンも多い。

大学卒業後、大阪YWCAに約21年間勤めた。参加体験型学習とのかかわりはここでの体験が大きいという。大阪YWCAでは青少年育成のための教育プログラムを持っており、その一つにキャンプ活動がある。「みんなで楽しめるものにしようと、劇やゲームなど参加者全員でつくりあげます。後に、この実践は言葉で言えば参加体験型学習だと思いました」

みんなで楽しめるキャンプにするために、朝の集い、劇やゲーム、キャンプファイヤーなど、一つひとつの場面で、その意味と意義を考え、それを実現させることを大切にしてきた。非日常的なキャンプでの体験を日常生活に活かしていくためにも、「意味と意義をしっかり考えて、実践することは大切です。参加体験型学習は日常生活を学び直す機会でもあります」と話す。

さらに、「24時間が参加体験型」。その根底には「セルフエスティーム」(自己肯定感情)。まず自分のことを好きになる。そして、自分自身が自分の人生に参加し、人とつながり、自分の生き方をつくっていくことが参加体験型学習のめざすものとも。

現在は、「ホリスティック」な見方や考え方、行動を広げることに取り組んでいる。「ホリスティックとは全体性、つながり、関係性、バランスなどを大事にする考え方です。例えば、人間関係でいえば、大阪は『人情の町や』といわれていたわけですが、それが、とぎれ、分断されているような気がします」と、現代社会における人間関係の希薄さを憂えながら、「人と人との関係性、つながりをもう一度つなぎ直していきたい」と新たな目標を見据える。